

／つくしんピック開幕／



里だより

No.402

令和7年7月1日

一発行一

菊池郡大津町平川400番地

社会福祉法人 清和会

つくしの里

TEL 096-293-1550

FAX 096-293-1579



七月号もくじ

施設長より……………1

(ページ)

サビ管より……………2

主任より……………4

職員より・調理場より……………5

サービス向上委員会より・

行事報告……………6

行事予定・

ありがとうございました・

編集後記……………8

決算報告(計算書類)……………9



施設長より

社会福祉法人の六月



六月初旬、九州北部の梅雨入りが発表されました。平年より四日遅く、昨年より九日早かったようです。予報では二週間先まで雨マークが並んでいます。また、発表されたと同時に大雨への注意喚起に線状降水帯の発生も確認されています。九州北部豪雨を経験しているので、大雨による土砂災害の怖さも知っているつもりです。施設の防災訓練には、火災による避難訓練の他、土砂災害想定のものも行います。施設の立地もハザードマップの危険避難地域には指定されていないものの、BCP（業務継続計画）の見直しも含め、もしもの事態に備えたいと思います。

六月から熱中症対策が義務化されました。工事現場などのような炎天下の中、連続一時間以上、一日を通して四時間以上の仕事をすることは、ほとんどありませんが、福祉施設での可能性としては、入浴支援でしょうか。浴室は暑いものの、脱衣所にはクーラーがありますので、交代しながら介助等に当たるようにしたいと思います。この他、熱中症警戒アラート・熱中症予防の目安表（WBGT指数計等）などを参考にして対策を図っていきます。

また、職員自身へも体調管理に気を付けてもらわなければなりません。暑さに慣れる身体づくりの暑熱順化もその一つです。私自身もずいぶん以前から暑熱順化に取り組んでいます。周りを山に囲まれた施設特有の草刈りや、野外のイベント準備を行ったりしますので、三月頃より汗をかきやすい身体になるよう心掛けています。

ただ、これからの暑さは災害級なのかもしれません。熱中症対応のフローも作成し周知しました。利用者さんの生活の場は、職員の仕事場。職員の仕事場は利用者さんの生活の場。利用者さんに関連するところも多く出てきますので、対策を講じていきます。

さて、六月は社会福祉法人にとって、前年度分の各種サービスの事業結果、決算等々を評議員会に報告して、一段落つきます。今回は、職員による不適切な行為についても説明・報告させていただきます。事案については、行政・ご家族への説明・報告など早急に対応し改善等をしてきましたが、反省すべきところは、全て己の不徳の致すところとして、また、監督不行き届きの招いたこととして真摯に受け止め、より良い支援体制の構築、職員育成に努めていきます。

前年度の結果をまとめながらも、令和七年度の事業は、すでに三ヶ月を過ぎようとしています。受審した第三者評価の結果を踏まえ、サービス向上委員会の各委員会も精力的に動いてくれます。また、十月に開催する当施設の一大イベントの『秋の里まつり』の担当者会議もスタートしました。どのような催しが地域の方・利用者さんに喜ばれるか模索中です。職員研修では、外部講師をお招きし、支援者の基礎中の基礎となる心構えについて講演いただきました。より良い支援を行うには何が必要か、何を身につけなければならないのかを考えながら進みたいと思います。

施設長 松永 一博

サビ管より

フォローアップ研修



本格的な梅雨到来。ジメジメとした過ごしにくい時期となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。梅雨の後半は線状降水帯が発生しやすいみたいです。大きな災害につながる危険性もありますので、この時期の自然災害には十分お気を付けください。

さて、今年度入職した新卒の職員が、六月までの試用期間を経て、七月より正式に当事業所の職員となりました。試用期間中は、フィードバック研修を最低月一回行い、業務や所属班について不安なことはあるか、業務を理解できているか等のヒアリングをしてきました。もちろん分からないところや不安なところは、その場で話してくれますので、どう伝えたら理解してくれるだろうかと考えながら返答しています。

フォローアップ研修のたびに二つのことを伝えていきます。

一つ目は「分からないことは分からないままにしない」「分かっただけでいい」「分からない」「知らない」を「分かった」「理解できた」に繋げていくことが必要です。いくらこちらが分かりやすくだ丁寧に教えたとしても、理解できているかどうかは本人にしか分かりません。逆に言えば、本人が何を理解していて何が分からないかは本人しか分からないということです。

「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」ということわざがあります。知らないことを人に聞くのは、その時は恥ずかしいと思っても、聞かなければ一生知らないまま過ごすことになるので、その方が恥ずかしい。又、知らないことを恥ずかしがったり、知ったかぶりをせずに、素直に聞いて学ぶべきだという教えだそうです。確かにその通りだと納得させられます。一生知らないまま過ごせば、自分が恥ずかしい思いをするだけではなく、周りの人たちにも迷惑をかけます。知っているふりをしていても結局はチームを混乱させ、その責任が全部自分に降りかかってくるだけです。知っていると知らないでは雲泥の差があります。だからこそ、知らないことを知ろうとする努力が必要だと感じます。知ろうとする努力、理解しようとする努力を新入職員である今の内に身につけてもらいたいです。

二つ目は、「文責」という言葉があるように自分が書いた文章に責任を持つことです。職員それぞれに担当利用者さんがいます。担当利用者さんの月々の状況をケース記録としてデータにまとめます。ケース記録の中には、データの他にも支援計画の進捗状況と翌月に向けた取り組みも記載します。その月の担当利用者の状態をまとめ、翌月にどう繋げて支援していくかを考え、文章化します。翌月の取り組み内容の中に「〆の支援に取り組んでいく」「〆の確認を取り情報を集める」と記載されていたため、自分がこれをしようと決めて記載したことは必ず取り組むよう伝えていきます。書くだけであれば誰にでもできます。書いた文章に責任を持って取り組んでいくことで、その支援が良かったのかどうか分かります。良かったら継続し、悪かったら改善していくこと

の繰り返しが利用者支援をより良くし、自分自身のスキルアップと信頼関係の構築に発展していくものと思います。

今は新入職員ですが、一年後、二年後は先輩職員になります。後輩に業務や利用者支援を教えていかなければなりません。そのときに「分からない」「知らない」「分かったふり」となれば、新しく入ってきた職員も不安になります。信頼関係にも繋がってきません。今の段階から基本姿勢や仕事への取り組み方などを身に付けてもらい、立派な職員に育て上げていくために、これからも定期的にフォローアップ研修を行っていきたいと思います。その中で、新入職員が抱えている不安や悩み、つまづきを一緒に解消しながら、自信とやる気に繋げて次のステップへと進んでくれることを期待します。

支援係長 竹下 幸樹



施設 PR 委員会

今月の 1 枚！



季節行事でバラ園に
行ってきました！
バラのいい香り～！

主任より

熱中症対策を！



六月より梅雨に入りました。雨が降っていないときでも湿度が高く、蒸し暑い日が続いています。調べてみると、今年の平均気温は平年に比べて高く、春から熱中症対策が必要とのこと。思い返してみると昨年度も平年よりも高く…と言われていた気がします。年々、気温も高くなり、毎年のように最高気温も更新されているようです。理由としては地球温暖化や、エルニーニョ現象などの影響、高気圧の配置などがありますが、理由がどうであれ暑いものは暑い…。「主任より」を書いている現在、六月の梅雨時期にもかかわらず、「真夏日」や「猛暑日」の記録が続きました。

先日のニュースで、既に熱中症で搬送された方も多数おり、関東では、九〇歳の女性が亡くなられたそうです。高齢でもありましたが、エアコンが壊れた中で過ごされていたとのことでした。

昨今の、気温上昇に伴い、二〇二一年には環境省より三十三度以上になると熱中症警戒アラート（健康に被害が生じるおそれ）が発令されるようになり、二〇二四年には三五度以上で熱中症特別警戒アラートが新設され、運用されることとなりました。特別警戒アラートが発令された都市では、学校や企業、イベントなどの管理者は、熱中症対策が徹底されない限り、運動やイベントの中止・リモートへの変更など判断を求められることとなりました。また二〇二五年の六月一日より職場での熱中

症対策が義務化され、条件を満たす作業を行っているすべての企業が対象となり、罰則もあります。それだけ、熱中症対策が必要だと感じます。

個人が行える熱中症対策としては最低限思いつくのは

- ・こまめな水分補給（のどが渴いていなくても行う）
- ・気温が高いときは不要な外出を控える（運動も控える）
- ・室内温度設定（エアコンを使用する）



などが挙げられます。少年時代に部活動で、「水を飲むと体力がつかないから飲むな」と言われた世代な事もある為か、私は普段あまり水分を取らない方なので、意識して水分をとり暑さを乗り切りたいと思います。今考えるとすごい時代でした。

熱中症の話に終始しましたが、最後に梅雨といえば、もちろん雨の話です。「恵の雨」と言われるように必要なものではありませんが、長く続く雨は気分が減入ることもあるかと思っています。

ある歌で元気が出たので掲載します。末娘（４歳）が歌っていました。

「あめあめ、ふれふれ〜かあさんが〜♪〜つのだせ、ありだせ、かたつ〜むり♪」

・・・ツツコミどころが満載ですが、これから夏の到来と共に、ますます暑くなりそうです。熱中症対策をしつかり行い、頑張っていきたいと思います。

主任支援員 山中 真史

職員より



新年度になり、3ヶ月が経とうとしています。新しい班編成になり、だいぶ慣れてきましたが、まだまだ利用者さんに満足して頂ける支援になっていない気がします。利用者さんが伝えたい事など理解し、利用者さんが満足出来る支援を追及していきます。

私事ですが、支援局の入り口に季節の壁面制作を行なっています。隙間時間に、少しずつ作り、月代わりに貼りかえています。上手ではないのですが、少しでも癒されるならと思っています。これからも利用者さんの癒しや楽しみを見つけ、支援に励んでいきます。

(支援員 山田)



私事ではありますが、年度初めになると自分なりのテーマを決めて1年頑張っています。今年度の私のテーマは「勉強」です。

現在、社会福祉士の試験合格を目指し勉強に取り組んでいます。試験科目は幅広く、理念や歴史、法律、障害や高齢に関する制度等々、実に多岐にわたります。ボリュームのある内容に圧倒されてばかりですが、日々の支援と結びつけながら学ぶことで、実感をもって理解を深めています。個人の考えではありますが学ぶことは、支援の幅を広げ、質を高める大切な手段であると思います。今後も支援の現場での経験を大切にしながら、理論と実践を行き来し、より良い支援をめざしていきます。

Fight!!



(支援員 松尾)

調理場より



今年度の栄養部門の年間目標は「三食しっかり食べて、体を動かし丈夫な体を作りましょう」です。年間目標にちなんで6月の給食会議時に出席者全員で「輪投げ大会」を実施しました。栄養室にあいさつに来られる利用者Tさんは気合十分で、前日にこっそり練習をされました。準備運動に深呼吸と肩回しをして2班の利用者さんからスタート。1人5回のチャレンジです。皆さん真剣に参加され、大きな声援が飛び大盛り上がりでした。結果は、上位3名職員でしたが4位～7位は利用者さんで、なかなかの高得点でした。梅雨の時期の鬱陶しさを忘れ、楽しい時間を過ごしていただけたと思います。

暑くなってくると体を動かすのもつらく、食欲も落ちてきます。明るく元気に声を掛け合い、暑い日でも食欲をそそる食事を提供したいと思います。

(管理栄養士 奈須)



サービス向上委員会より

■ 食事【管理栄養士 奈須・主任支援員 松若・支援員 八木】

梅雨入り真ただ中で、思うように外での活動ができず、消化不良な日々が続いているように感じます。外に出る楽しみが少ない分、食事で皆さんの気持ちを盛り上げ、しっかりと栄養を摂取し、健康な身体で真夏を迎えたいと思います。

食事委員では、調理場と協力し、「都道府県ごとの郷土料理」を毎月提供しています。ご当地メニューを皆さんにより楽しんでいただくため、毎回ポスターを制作し、掲示しています。7月は「夏のお楽しみ昼食会」を開催します。カレーやカップ麺、ジュース、デザートなど利用者さんが食べたい食事を選び、活気が溢れる様なイベントにしていきます。

Thank you!!



行事報告 ※ 5/21 (水) ~6/20 (金) について報告します。

★ つくしんピック【5月22日(木) つくしの里】

いきいきグループときらめきグループに分かれて、ストラックアウト・風船バレー・拾い玉入れの3競技で競いました。今年は、「班カラー」を取り入れ、色とりどりの装飾に囲まれ、職員の仮装にも力が入り、大阪万博のあのキャラクターや昔懐かしい葉っぱ隊などが登場しました。その他にも班ごとにポスターやポンポンを作成し、大いに盛り上がりました。ストラックアウトでは高得点が連発。風船バレーでは車いすの利用者さんもボールに触れ、ラリーを繋ぎました。拾い玉入れではボールを拾ってカゴに入れるだけではなく、カチューシャなどを身に着け仮装でも得点を競い合いました。結果、いきいきグループの部では2班の優勝、きらめきグループの部では5班の優勝でした。班一丸となって白熱した戦いとなりました。(支援員 瀬形)

↓各班の応援ポスターのご紹介♪



★ チャリティーボウリング【6月7日(土) 菊陽ボウル】

ライオンズクラブ主催のチャリティーボウリング大会に参加しました。今回は5班利用者さん9名で参加。男性・女性の2チームに分かれ2ゲームを行い、それぞれの合計点数で競いました。各々のフォームでボールを投げ、ピンに当たらず悔しがめる方やストライクが出て喜ぶ方、大谷選手の真似をしてポーズを決める方もいました。久しぶりのボウリングでしたが、徐々にルールや感覚を思い出し楽しまれていました。

結果、男性のチームが全体の2位という好成績を納めました。大会後にはレストランで昼食を食べ充実した1日を過ごしました。

(主任支援員 小嶋)



★生活介護班⑤班外出【6月9日（月）湯～庵・道の駅旭志】

今年度1回目の班外出の天気は雨となりましたが、温泉・昼食外出ということで、温泉は植木にある家族湯「湯～庵」、昼食は「道の駅旭志」のレストランへ出掛けました。

湯～庵では5つのグループに分かれ植木の湯を堪能してきました。湯加減が良く、いつも長湯しない利用者さんも少し長めに浸かりゆっくり過ごされました。ジメジメした日でしたが湯上りはさっぱりで風呂上がりのジュースが最高でした！

道の駅旭志のレストランでは、ロースかつ定食、薄切りビーフ定食、ロースかつカレーなど注文し美味しくいただきました。お肉が柔らかく、食べ応えのある食事で皆さん満足な様子でした。もちろん食後のデザートも美味しく完食です♪

帰園後、皆さん笑顔でとてもいい表情で、「楽しかった！」「温泉に入ってスベスベになった！」「ご飯が美味しかった！」などたくさん感想があり、楽しかったんだと感じました。これから7月～8月にかけて作業が忙しくなります。暑い時期の作業にもなるので体調には十分気を付け頑張りたいと思います。繁忙期が終われば一泊旅行が待っています。



⑤班のみんなで繁忙期を乗り切るぞ～！！

（支援員 田中）



★スイカ割り大会【6月17日（火）つくしの里】

いきいきグループは職員お手製のスイカで、きらめきグループはスイカ柄のビーチバレーボールを使ってスイカ割りを行いました。「えいっ！」とスイカを割る時の表情が利用者さん皆凄く楽しそうで笑顔が絶えませんでした。目隠しをして挑戦する利用者さんもおられ、最初は前が見えないことで恐る恐るスイカの方へ進んでは、空振りしていましたが、慣れてくるとコツを掴み見事スイカに命中することができました。珍プレーも続出で笑いと歓声が響き大盛り上がりでした。食後には、本物のスイカを食べてスイカ割り大会を締めくくりました。

（支援員 牛島）



行事予定

☆ 菊池郡市社会福祉施設職員体育実技研修会（菊池市）

期 日：7月5日（土）

内 容：若手職員を中心にミニバレーボール大会に出場します。

昨年は悔しい結果でしたが、今年こそ優勝を目指して頑張ります！！

☆ お楽しみ昼食会（つくしの里）

期 日：7月10日（木）

内 容：1・2・3班→キーマカレーとバターチキンカレーの2種類にスイーツbuffet。

4・5班→カップ麺・袋麺のセレクトにスイーツbuffetをいただきます♪



ありがとうございました

今月の掲載分は、

令和七年五月二十一日～

令和七年六月二十日です

【寄付・寄贈】

・今坂 桂子 様 ・岩根 治美 様

・内田 節代 様 ・江頭 多津子 様

・尾田 一広 様 ・清田 すま子 様

・坂田 昌子 様 ・竹山 眞事 様

・田上 恵子 様 ・藤田 孝志 様

・福田 和幸 様 ・松本 堅了 様

・松本 良子 様 ・三上 貴宏 様

・光永 順子 様 ・渡辺 昭子 様

・居屋敷の里 様 ・まんしん未来 様

・ライオンズクラブ 様

【ボランティア】

・村里 和洋 様 ・トキヒロ 様

・カモメ 様 ・木本 ふじ子 様

・丸山 典子 様

誠にありがとうございました。

利用者さんの為に使用させて頂きます。



編集後記

暑くなってくると、アイスクリームを食べたくなり、買い物に行ったらついアイス売り場に行ってしまう。去年は九十八円で買ったのに、今は一三〇円…。値上がりを実感します。

地味な値上がりが利用者さん、事業所、また家庭でも大きく影響を受けています。この状況が早く収まってくれるのを待つばかりです。

今年度も無事に理事会と評議員会が終わりました。令和六年度の決算報告を掲載しますので、ご確認ください。



※お詫びとおことわり

里だより担当では、毎月十分注意して記事の記載、確認をしておりますが、誤字脱字等がございましたら何卒ご容赦していただきます。存じます。

法人单位贷款对照表

令和7年3月31日現在

9

第一号第一様式（第十条第四項関係）

法人単位資金収支計算書

（白） 令和6年4月1日 （全） 令和7年3月31日

（単位：円）

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収入	障害福祉サービス事業収入	449,802,000	464,421,671	-4,619,671	
	経済的弱者福祉収入	1,633,000	1,631,200	-2,100	
	その他収入	3,000	3,175	-175	
	その他収入	794,000	940,474	-146,474	
	事業活動収入計(1)	452,229,000	468,036,419	-6,716,419	
事業活動による支出	人件費支出	282,381,000	291,575,475	-705,525	
	事務費支出	61,092,000	59,370,442	2,521,558	
	事務費支出	59,148,000	53,020,750	2,322,250	
	その他支出	620,900	509,345	91,655	
	事業活動支出計(2)	404,018,000	385,965,912	5,660,908	
活動外収入	事業活動外収入(3) = (1) - (2)	51,213,000	63,649,406	-12,436,406	
	施設整備等補助金収入	1,000,000	1,000,000	0	
	特定資産売却収入	0	0	0	
	施設整備等収入計(4)	1,000,000	1,000,000	0	
	固定資産売却収入	11,876,000	11,871,860	54,140	
活動外支出	固定資産売却収入	11,876,000	11,871,860	54,140	
	固定資産売却収入	0	0	0	
	施設整備等支出計(5)	11,876,000	11,871,860	54,140	
	固定資産売却収入(6) = (4) - (5)	-10,876,000	-10,871,860	-54,140	
	固定資産売却収入	205,000	205,110	-110	
活動外収入	その他活動外収入計(7)	205,000	205,110	-110	
	施設整備等支出	32,363,000	32,341,160	121,840	
	その他活動外支出計(8)	32,363,000	32,341,160	121,840	
	活動外活動外収入(9) = (7) - (8)	-32,158,000	-32,000,050	-121,950	
	活動外支出(10)	2,207,000		2,207,000	
活動外収入	活動外収入(11) = (3) + (6) + (9) + (10)	5,972,000	20,791,496	-14,819,496	
	施設整備等収入(12)	276,777,901	276,777,901	0	
	活動外収入(13) = (11) + (12)	282,749,901	297,569,397	-14,819,496	

※令和6年度予算額 543,000円

第二号第一様式（第二十三条第四項関係）
法人単位事業活動計算書

（自）令和6年4月1日 （至）令和7年3月31日

（単位：円）

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	障害福祉サービス事業収益	464,127,571	417,121,036	37,006,535
	投資収益等附金収益	3,737,200	7,822,122	-4,084,922
	サービス活動収益計(1)	458,390,371	418,803,758	39,586,613
	費用			
	人件費	383,799,898	362,759,588	21,040,310
	事業費	34,370,449	55,301,238	-20,930,789
	事務費	53,820,830	49,647,631	4,173,199
	経費貸付費	21,738,621	28,588,257	-6,849,636
	国庫補助金等特別独立金取崩額	4,692,777	-4,887,330	9,580,107
	サービス活動費用計(2)	414,035,575	398,470,313	15,565,262
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	44,354,796	22,433,445	21,921,351
サービス活動外増減の部	収益			
	受取利息配当金収益	8,779	9,137	-358
	その他のサービス活動外収益	878,494	2,984,028	-2,105,534
	サービス活動外収益計(4)	887,273	2,993,165	-2,105,892
	費用			
	その他のサービス活動外費用	588,048	479,644	108,404
	サービス活動外費用計(5)	588,048	479,644	108,404
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	299,225	2,513,521	-2,214,296
経常増減差額(7)=(3)+(6)		44,654,021	24,946,966	19,707,055
特別増減の部	収益			
	施設整備等補助金収益	1,000,000	0	1,000,000
	固定資産売却益	0	0	0
	特別収益計(8)	1,000,000	0	1,000,000
	費用			
	固定資産売却損・処分損	0	118,737	-118,737
	国庫補助金等特別独立金取崩額（貸付等）	0	0	0
	国庫補助金等特別独立金取崩額	1,000,000	0	1,000,000
	特別費用計(9)	1,000,000	118,737	881,263
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	-0	-118,737	118,737
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		44,654,021	24,828,229	19,825,792
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	429,597,754	416,113,737	13,484,017
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	474,251,075	440,937,966	27,013,808
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	その他の繰立金取崩額(15)	0	0	0
	その他の繰立金取崩額(16)	30,000,000	29,000,000	1,000,000
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)+(16)		474,251,075	440,937,966	33,313,109